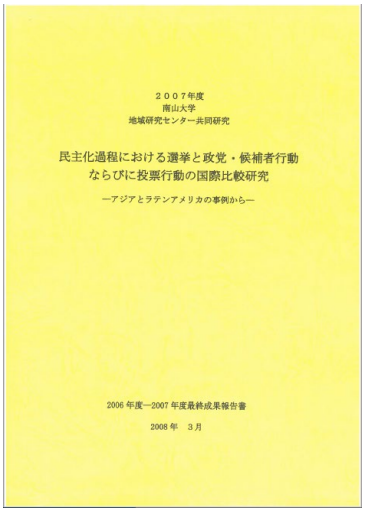
共同研究シリーズ

南山大学地域研究センター共同研究「民主化過程における選挙と政党･候補者行動ならびに投票行動の国際比較研究
―アジアとラテンアメリカの事例から―」研究会では 2006 年から 2 年間の研究成果として『民主化過程における選挙と政党･候補者行動ならびに投票行動の国際比較研究
―アジアとラテンアメリカの事例から―』を刊行いたしました。



共同研究シリーズ

『民主化過程における選挙と政党･候補者行動ならびに投票行動の国際比較研究
―アジアとラテンアメリカの事例から―』

2008 年 3 月発行
研究代表者：吉川　洋子（南山大学総合政策学部）

まえがき	吉川　洋子
共同研究　研究会活動一覧	
2006 年度	
2007 年度	
2007 年度海外現地調査	
2007 年度研究会報告	
第2回研究会報告「タイの民主化とクーデタ」	玉田　芳史
第3回研究会報告「メキシコ・ユカタン州の地方選挙に見る民主主義の「定着」―「錬金術」から「ルチャ・リーブレ」へ―」	渡辺　暁
2007 年度シンポジウム「民主化過程における選挙：政党・候補者・投票行動」	
プログラム	
趣旨ならびに報告要旨	吉川　洋子
基調報告 「民主化過程の比較政治学へむけて」	小野　耕二
韓国セッション	
第1報告 「韓国における大統領候補者の選出と政党政治―第 17 代大統領選挙（2007 年）を事例に」	浅羽　祐樹

第２報告 「韓国におけるイメージによる選挙」	金光旭
途上国セッション	
第１報告「候補者中心投票行動―フィリピンの事例から」	吉川　洋子
第２報告「パフォーマンスの行方―ペルーの事例から」	加藤　隆浩